

- 24日の米国市場では主要株価指数が急落。しかし、米金利上昇には一服感がみられるほか、外国為替市場には波乱はみられず、金利上昇などが必ずしも下落の本質とはいえない面も。
- 中国や世界経済の先行きに対する一部の懸念は行き過ぎと考えられ、足もとの下落は米国株式へ偏り過ぎた資産配分を調整する動きと捉えることも可能か。当面は、VIX指数などの指標に注目。

ナスダック総合指数はおよそ7年ぶりの下落率を記録

24日の米国市場では主要株価指数が急落し、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）が前日比608ドル下落したほか、ハイテク株の比率の高いナスダック総合指数の下落は同-4.4%と、2011年8月以来の下落率を記録しました。

米金利は低下、外国為替市場に波乱はみられず

米国株は10月に入り下落が続いており、主要株価指数の1つであるS&P500種指数は18営業日で14回目下落となりました。

足もとの米国株下落については当初、良好な企業景況感や雇用を背景に米金利上昇が加速するとの懸念がありました。しかし、11日以降米金利の上昇には一服感がみられるほか、24日には株価急落を受けてリスク回避とみられる動きが強まり、米10年国債利回りは3.10%台と、9日の取引時間中に記録した3.25%からはむしろ低下しています。

また、米ドル/円など外国為替市場の動きは比較的落ち着いているほか、トルコリラは9月以降回復基調にあるなど、新興国通貨にも波乱はみられません。

米国株下落は資産配分を調整する動きか

足もとでは中国株急落も米国株などの下落要因とされます。中国経済の先行き懸念が背景にあるとされていますが、7-9月期の中国の実質国内総生産（GDP）成長率は依然6%台と、緩やかに減速しながらも堅調なペースで推移しています。また、23日に中国関連として急落したキャタピラーの決算発表でも中国ビジネスの見通しについては楽観的な見方を示しています。

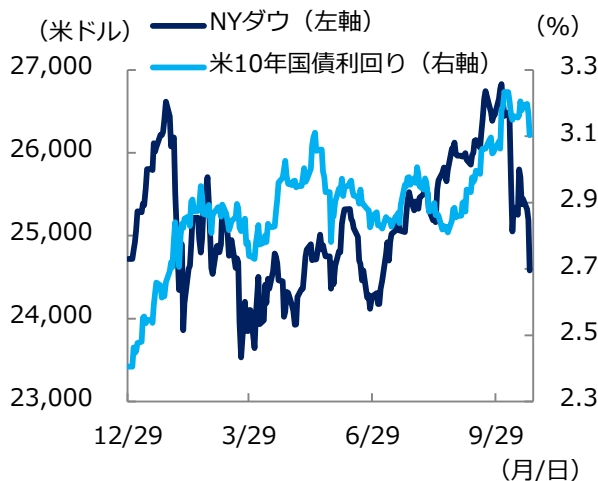
こうしたことなどを考慮すると、足もとの経済の基礎的条件（ファンダメンタルズ）が変調をきたす気配はみられず、世界経済の先行きに対する一部の懸念は行き過ぎと考えられます。

足もとの米国株下落は、金利上昇やファンダメンタルズが必ずしも下落の本質とはいえない面があることから、日欧や新興国などと比べ良好な見通しのもと、米国株式へ偏り過ぎた資産配分を調整する動きと捉えることも可能と思われます。こうした場合、株価の反発には市場心理の落ち着きが必要と考えられます。当面は、VIX指数など市場の変動性（ボラティリティ）を示す指標の動向が注目されます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

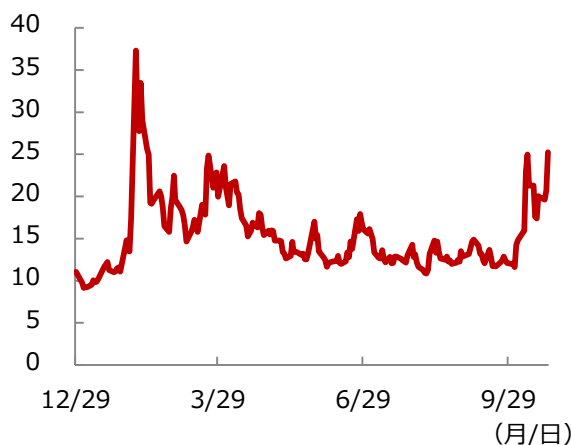
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

NYダウと米金利の推移



※期間：2017年12月29日～2018年10月24日（日次）

VIX指数の推移



※期間：2017年12月29日～2018年10月24日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、ダウ・ジョーンズ工業株価平均およびS&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ナスダック総合指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はNasdaq Stock Market, Inc.に帰属します。
- VIX指数はシカゴ・オプション取引所が算出する指数です。